

# 平成17年度決算のあらまし

## 一般会計

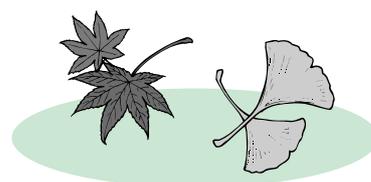
歳入 102億8,978万3千円

歳出 98億 575万6千円

平成17年度一般会計における最終予算額は、歳入歳出それぞれ102億781万7千円です。これに対し、歳入決算額は102億8,978万3千円で収入率は100.8%、歳出決算額は、98億575万6千円で執行率は96.1%、翌年度へ繰越される額は、4億8,402万7千円となります。

## 一般会計

会 計 名	歳入決算額(A)	歳出決算額(B)	差引額(A-B)	歳入歳出決算額(単位:千円)	
一 般 会 計	10,289,783	9,805,756	484,027		
特 別 会 計	国民健康保険	2,798,375	2,676,080		122,295
	老人保健医療	2,617,558	2,615,529		2,029
	介 護 保 険	1,747,908	1,744,904		3,004
	下 水 道 事 業	2,129,338	2,054,556		74,782
	小 計	9,293,179	9,091,069		202,110
合 計	19,582,962	18,896,825	686,137		



# 一般会計 歳入の内訳

## 歳入

特集

### 町税

(単位：千円、%)

区 分	決 算 額	構 成 比 %
町 民 税	2,835,427	48.6
固 定 資 産 税	2,291,582	39.3
軽 自 動 車 税	23,736	0.4
町 た ば こ 税	142,051	2.4
都 市 計 画 税	537,417	9.2
合 計	5,830,213	100.0

### 財源区分別表

(単位：千円、%)

区 分	決 算 額	構 成 比 %	
自主財源	町 税	5,830,213	56.7
	分 担 金 及 び 負 担 金	48,328	0.5
	使 用 料 及 び 手 数 料	179,679	1.7
	財 産 収 入	52,363	0.5
	寄 附 金	14,241	0.1
	繰 入 金	1,011,807	9.8
	繰 越 金	498,356	4.8
	諸 収 入	79,296	0.8
	小 計	7,714,283	75.0
依存財源	地 方 譲 与 税	189,913	1.8
	利 子 割 交 付 金	27,948	0.3
	配 当 割 交 付 金	19,361	0.2
	株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	28,261	0.3
	地 方 消 費 税 交 付 金	209,201	2.0
	ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	24,906	0.2
	自 動 車 取 得 税 交 付 金	92,401	0.9
	地 方 特 例 交 付 金	258,451	2.5
	地 方 交 付 税	55,393	0.5
	交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	6,114	0.1
	国 庫 支 出 金	236,910	2.3
	県 支 出 金	494,941	4.8
	町 債	931,700	9.1
小 計	2,575,500	25.0	
歳 入 合 計	10,289,783	100.0	

歳入決算額は、102億8,978万3千円で、前年度に比べマイナス2.2%、2億3,195万4千円の減となりました。

歳入の根幹的財源である町税は、58億3,021万3千円で、前年度対比プラス2.6%、1億4,932万7千円の増となっており、歳入全体に占める割合は、56.7%です。主な理由は、税制改正による配偶者特別控除の廃止や配偶者の均等割りが新規に課税されたことなどによるものです。

地方交付税は、5,539万3千円で、前年度対比マイナス7.5%、450万2千円の減となりました。これは、特別交付税が減となったことによるものです。なお、普通交付税は、前年に引き続き不交付となっています。

国庫支出金は、2億3,691万円で前年度対比マイナス41.4%、1億6,745万3千円の減となりました。これは、児童手当事務に係る児童福祉費負担金の増などがあったものの、ダイオキシン恒久対策事業債償還に係る清掃費補助金、史跡の購入費に係る社会教育費補助金、都市再生モデル調査業務に係る総務管理委託金などが減となったことによるものです。

繰入金は、10億1,180万7千円で前年度対比プラス1.4%、1,406万8千円の増となりました。これは主に公共公益施設整備基金繰入金などが増となったことによるものです。

町債は、9億3,170万円で、前年度対比マイナス21.1%、2億4,930万円の減となりました。これは、福祉機能と教育機能を併せ持つ施設整備事業債、漁港整備事業債などの増があったものの、臨時財政対策債の減の他、平成7・8年度に借入を行った減税補てん債の借換分が無くなったことによるものです。



歳出(性質別)

(単位：千円、%)

	区 分	決 算 額	構 成 比 %
消費的経費	人 件 費	2,790,308	28.5
	物 件 費	1,954,805	19.9
	維 持 補 修 費	45,276	0.5
	扶 助 費	637,184	6.5
	補 助 費 等	448,730	4.6
	小 計	5,876,303	59.9
投資的経費	普 通 建 設 事 業 費	1,128,244	11.5
	災 害 復 旧 事 業 費	0	0.0
	小 計	1,128,244	11.5
その他の	公 債 費	557,258	5.7
	積 立 金	472,695	4.8
	投 資 及 び 出 資 金	492	0.0
	貸 付 金	5,000	0.1
	繰 出 金	1,765,764	18.0
	小 計	2,801,209	28.6
歳 出 合 計	9,805,756	100.0	

歳出(目的別)

(単位：千円、%)

	区 分	決 算 額	構 成 比 %
議 会 費	188,001	1.9	
総 務 費	1,793,819	18.3	
民 生 費	2,112,201	21.5	
衛 生 費	1,777,758	18.1	
農 林 水 産 業 費	54,541	0.6	
商 工 費	86,374	0.9	
土 木 費	1,792,854	18.3	
消 防 費	580,953	5.9	
教 育 費	861,938	8.8	
公 債 費	557,258	5.7	
諸 支 出 金	59	0.0	
歳 出 合 計	9,805,756	100.0	

歳 出

歳出決算額は、98億575万6千円で、前年度対比マイナス2.2%、2億1,762万5千円の減となりました。

総務費は、17億9,381万9千円で、前年度対比マイナス4.5%、8,362万4千円の減となりました。これは、法規訟務経費やアスベスト対策事業などの増があったものの、戸籍業務電算化事業や収入役事務兼掌に伴う人件費の減などがあったことによるものです。

民生費は、21億1,220万1千円で、前年度対比プラス31.6%、5億685万4千円の増となりました。これは、障害福祉の「葉山はばたき」の指定管理者に伴う地域作業所運営事業などの減があったものの、特別養護老人ホーム・介護老人保健施設への建設費補助や福祉機能と教育機能を併せ持つ施設整備事業などの増によるものです。

衛生費は、17億7,775万8千円で、前年度対比マイナス2.1%、3,819万円の減となりました。これは、清掃車購入に伴うごみ収集事業や焼却施設補修に伴うごみ焼却処理事業などの増があったものの、緑地保全の工事終了に伴う緑地管理事業や不燃物処理施設の補修工事終了に伴う不燃物処理事業などの減によるものです。

農林水産業費は、5,454万1千円で、前年度対比プラス60.4%、2,053万6千円の増となりました。これは、真名瀬漁港再整備事業などの増によるものです。

商工費は、8,637万4千円で、前年度対比マイナス27.2%、3,223万4千円の減となりました。これは、三ヶ岡公衆トイレ解体工事等の終了に伴う観光施設維持管理事業や緊急地域雇用創出特別対策事業の減などによるものです。

土木費は、17億9,285万4千円で、前年度対比プラス7.4%、1億2,371万2千円の増となりました。これは、道路維持整備事業や公園整備事業などの減があったものの、街路整備事業やテニスコート改修に伴う南郷上ノ山公園管理事業などの増によるものです。

消防費は、5億8,095万3千円で、前年度対比マイナス1.0%、611万3千円の減となっております。これは、防災行政無線情報伝達補完事業などの増があったものの、消防車両整備事業などの減によるものです。

教育費は、8億6,193万8千円で、前年度対比マイナス7.7%、7,241万2千円の減となりました。これは、町費教員配置に伴う学校経営・研究推進事業や小学校児童就学援助事業などの増があったものの、グラウンド整備終了による南郷中学校施設整備事業や古墳用地購入に伴う長柄桜山古墳調査整備事業などの減によるものです。

# 特別会計

(単位：千円、%)

## 国民健康保険 特別会計

この会計における最終予算額は、歳入歳出それぞれ27億6,544万8千円です。これに対し、歳入決算額は、27億9,837万5千円で、収入率101.2%、歳出決算額は、26億7,608万円で執行率96.8%、翌年度へ繰越される額は、1億2,229万5千円となりました。

## 老人保健医療 特別会計

この会計における最終予算額は、歳入歳出それぞれ26億3,926万9千円です。これに対し、歳入決算額は、26億1,755万8千円で、収入率99.2%、歳出決算額は、26億1,552万9千円で執行率99.1%、翌年度へ繰越される額は、202万9千円となりました。

## 介護保険 特別会計

この会計における最終予算額は、歳入歳出それぞれ17億7,358万3千円です。これに対し、歳入決算額は、17億4,790万8千円で、収入率98.6%、歳出決算額は、17億4,490万4千円で執行率98.4%、翌年度へ繰越される額は、300万4千円となりました。

## 下水道事業 特別会計

この会計における最終予算額は、歳入歳出それぞれ21億816万2千円です。これに対し、歳入決算額は、21億2,933万8千円で、収入率101.0%、歳出決算額は、20億5,455万6千円で執行率97.5%、翌年度へ繰越される額は、7,478万2千円となりました。

国民健康保険

老人保健医療

介護保険

下水道事業

歳入			歳出		
区分	決算額	構成比	区分	決算額	構成比
国民健康保険料	1,182,698	42.3	総務費	53,660	2.0
使用料及び手数料	13	0.0	保険給付費	1,768,024	66.1
国庫支出金	644,368	23.0	老人保健拠出金	599,165	22.4
療養給付費等交付金	492,053	17.6	介護納付金	194,603	7.3
県支出金	95,630	3.4	共同事業拠出金	48,032	1.8
共同事業交付金	56,975	2.0	保健事業費	9,882	0.4
財産収入	18	0.0	基金積立金	18	0.0
繰入金	246,537	8.8	公債費	0	0.0
繰越金	72,190	2.6	諸支出金	2,696	0.1
諸収入	7,893	0.3	合計	2,676,080	100.0
合計	2,798,375	100.0			
支払基金交付金	1,627,896	62.2	総務費	10,970	0.4
国庫支出金	641,026	24.5	医療諸費	2,598,743	99.4
県支出金	170,186	6.5	公債費	0	0.0
繰入金	178,450	6.8	諸支出金	0	0.0
繰越金	0	0.0	前年度繰上充用金	5,816	0.2
諸収入	0	0.0	合計	2,615,529	100.0
合計	2,617,558	100.0			
介護保険料	285,153	16.3	総務費	83,272	4.8
使用料及び手数料	0	0.0	保険給付費	1,650,605	94.6
国庫支出金	390,457	22.3	財政安定化基金拠出金	1,475	0.1
支払基金交付金	514,296	29.4	保健福祉事業費	0	0.0
県支出金	208,270	11.9	基金積立金	2	0.0
財産収入	2	0.0	公債費	0	0.0
繰入金	304,455	17.4	諸支出金	9,550	0.5
繰越金	45,018	2.6	合計	1,744,904	100.0
諸収入	257	0.0			
合計	1,747,908	100.0			
使用料及び手数料	136,843	6.4	総務費	220,430	10.7
国庫支出金	401,000	18.8	事業費	1,027,807	50.0
県支出金	21,299	1.0	公債費	806,319	39.2
繰入金	1,047,000	49.2	合計	2,054,556	100.0
繰越金	73,744	3.5			
諸収入	5,552	0.3			
町債	443,900	20.8			
合計	2,129,338	100.0			

# 町債の状況

## 1 一般会計

### (1) 目的別内訳 (単位:千円)

区分	平成17年度末現在高
総務債	332,909
民生債	462,022
衛生債	214,908
農林水産業債	3,479
土木債	477,157
消防債	524,535
教育債	520,423
減税補てん債	1,231,529
臨時税収補てん債	66,760
臨時財政対策債	1,904,596
合計	5,738,318

### (2) 借入先別内訳 (単位:千円)

区分	平成17年度末現在高
財務省	2,758,760
郵政公社	1,469,734
公営企業金融公庫	275,244
神奈川県	65,520
県市町村振興協会	511,258
市中銀行等	657,802
合計	5,738,318

## 2 下水道事業特別会計

### (1) 借入先別内訳 (単位:千円)

区分	平成17年度末現在高
財務省	8,993,539
郵政公社	535,400
公営企業金融公庫	1,147,096
神奈川県	82,933
合計	10,758,968

### 石綿業務に従事した 離職者に対する 特別健康診断

過去に石綿を製造し、または取り扱う作業に従事し、事業場の廃業など何らかの理由により石綿健康診断を受診できない退職者に対して、無料で健康診断を実施します。

#### 受付期間

十一月一日(水)～十七日(金)

対象 石綿を製造し、または取り扱う作業に従事して退職した人で、左記の全ての項目を満たしている人

- ① 従事していた作業が特定できること
- ② 初回ばく露から十年以上経過していること
- ③ 以前石綿作業に従事していた事業場が廃業や倒産、退職者に対する健康診断を拒否等の理由で石綿健康診断を受診できない状況にあること
- ④ 石綿に係る健康管理手帳を所有していないこと

※申請された人全員が受診できるとはかぎりません。

#### 申請場所・問合せ

- (財) 県予防医学協会  
☎〇四五―六四一―八五〇―
- (財) 県労働衛生福祉協会  
☎〇四五―三三五―六九〇―
- (財) ヘルス・サイエンス・センター  
☎〇四二―七四〇―一六二〇三
- (財) 京浜保健衛生協会

- ☎〇四四―七六六―三〇〇四
- (財) 結核予防会 神奈川県支部  
☎〇四五―二〇一―八二二八

### 第十七回流燈会俳句入選句

(八月十六日)

#### 流燈会大賞

母の顔知らずに生きて門火焚く

山梨県 小野 芦雪

#### 葉山町長賞

寒川町 多田 武峰

#### 葉山町議会議長賞

葉山町 中村きよ子

#### 葉山町教育委員会教育長賞

茅ヶ崎市 岡田 貞二

#### 葉山町観光協会賞

愛知県 小原あつ子

#### 葉山町俳句協会賞

葉山町 柳田 昭子

#### 佳作

- 勝俣ウメ子、池田信二、安藤とみ子、沼田重吉、中村南雄、松尾憲勝、志村宗明、畠山和子、本杉純生、小峰房男、宮崎慶子、佐藤桂子、城戸雅子、石原和加子、宮坂美弥子、林満子、佐久間由布子、島田カズ

※入選句はみそぎ橋(森戸海岸)わきの「俳句掲示板」と葉山しおさい公園に掲示しています。

浜施餓鬼実行委員会  
葉山町俳句協会